

Weekly



かぜ 三中の風

R07.12.8

あなたが主役「三者」面談

12月の初めは、三者面談週間でした。ここでは、「生徒・保護者」をひとくくりにするのではなく、「生徒」で一者、保護者で一者、そこに学校の教員が一者、合計三者での相談会です。



この場合、生徒は「本人」であり、「当事者」です。学校生活の様子や家庭からの願いなど、本人を取り巻く「保護者」と「教員」が情報交換・共有することも価値があることですが、何よりも大切なことは、本人が自分の考えを整理し伝えること・本人が我が事として面談の場で意思決定をしていくことです。

大人の生活では、大事なことを決める機会がたくさんあります。自分一人で決めたり、周りの人と相談して決めたり、いろいろな方法を選ぶことはできますが、最後に決めるのは自分自身です。

中学生の三者面談は、そのための学びの機会です。「親が決めた」「先生が決めた」という気持ちから卒業し、自分のことは（周りの意見を聞いて）自分で決める力を身に付けていきましょう。

HINO
Try! 